

## アンケート項目

今後実施する新たな実証や調査について、アイデアがございましたらご記入ください。

※具体的な事業案でなくとも問題ございません。

※お困りごと、連携先を探している、こういうことをやってみたい、など何でも結構です。

## メンバー回答

- 1
  - 「プラスチック資源に特化した回収ステーション」を利用したプラスチック資源の分別回収と回収プラスチックのマテリアルリサイクル
    - ・ 家庭から出るプラスチックごみの分別回収ステーションを設置し、住民の皆さんに洗浄して持ち寄って頂く方式を採用することでリサイクルプロセスの容易化
    - ・ 回収したプラスチックを樹脂ベンチなど耐久製品へリサイクル実施
    - ・ 神戸市の2拠点（ふたば学舎・コムスタ神戸）に回収施設を設置（規模拡大中）
  - 使い捨てプラスチックカップのアップサイクル
    - ・ デポジット制でカップの提供を行いプラカップの使用量削減
    - ・ 使用済みプラカップのアップサイクルステーション設置→3Dプリンターで座れるモニュメントを作成
    - ・ 「つくばクラフトビアフェスト2022」にて実施

	メンバー回答
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自販機横の回収ボックスに代わる、行政(事業者)設置の回収ボックスによるPETボトルの回収システムの確立検討</li> <li>○ トレイ、透明蓋材等の行政設置の回収ボックス等による、回収システム確立検討 (店頭回収による自主回収を業界として実施したいが、都会地区のスーパー等はスペースがないため、流通事業者の協力が得られない状況です。そのため、店頭回収の代替策として、行政設置の回収ボックス設置を是非ご検討いただきたい)。</li> <li>○ 人工芝の対策を進めていきますが、その効果を確認するため、測定地点を数カ所決めて、定期的にマイクロプラスチックの流出量の測定を実施していただきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンタクトレンズ空ケース、インクカートリッジ、ペットボトルを市の施設で回収しています。これら以外に、市が収集することでリサイクルにつながるような取組等は無いですでしょうか。また市民の方から環境美化の一環として、市内の自販機に横に空き缶ペットボトルの回収ボックスをお願いとの声があり、プラスチックごみ削減及びリサイクルを目的とした事業を実施したいと考えております。 この他にも、良質なプラスチックであるペットボトルの効率的な回収を検討したいと考えております。この他、市内ではプラスチック文具や家庭のプラスチックおもちゃのリユースなど検討できたらと考えております。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一度、分科会に参加している方と名刺交換する機会が欲しいです。コロナウイルスの影響がありますが、対面での分科会開催が出来ればと思います。</li> <li>○ 実証実験から出来た製品を大阪府リサイクル製品認定制度を用いて大阪府の認定製品としてPRをする。</li> </ul>

## メンバー回答

- 5
- プラ新法における製造・販売社による自主回収に関して、事前申請が必要となっていますが、何か承認事例などで解説いただければ幸いです。許諾可否の部分の定義の把握が出来たらと思います。
  - プラカプセル肥料について、製造メーカーは既に改善着手されておられるように見受けられます（各社のHPより）ただそうでないのならPVA（ポリビニルアルコール）などご提案したいところであります。
  - プラ家庭ごみに於いて（紙製品）容器包装リサイクル法でもう少し材料別細分化を行い、最良最適な再資源化の推進が図れると思います。容リ法の再商品化事業社以上に民間技術が向上している側面も鑑み。
  - 食品をはじめとする残渣付容器について、行政側で洗浄工程を運営（出資）する仕組みを作ることが望ましい。民間では投資額が大きすぎるのと汚水管理上、手を挙げられない。
- 6
- 実施したい調査  
海洋・漂着プラスチックの素材判別、有効リサイクルについての調査・実証  
オフィス・工場系廃プラの分別廃棄へのハードル調査(分別・インフラ等々)
  - 知りたいこと  
動脈・排出側のリサイクルを考慮したプラスチック製造業のトレンド  
欧州では、モノマテリアル化、顔料のカーボンフリーなどに傾きつつある。日本では？
  - 探している  
事業ごみの廃プラ排出量がそこそこ多く、調査に協力してくれそうな企業

## メンバー回答

- 7 ○ 大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの中で、共創チャレンジとして「ごみゼロSDGsパビリオン」を廃棄物資源循環学会・環境施設部会の皆様と実施しています。  
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000037.000015952.html>)

これは、全国4000以上ある焼却工場やリサイクルプラザの環境学習施設を拠点とし、SNSピリカを活用したごみゼロ運動を実施していただくという活動内容になっています。実際に、各環境学習施設でのごみ拾いイベント等も始まりつつありますので、10月頃に施設の対象者向けに各イベント内容や企画について共有・ヒアリングするオンライン座談会も実施する予定です。

ごみゼロやごみ拾いがメインですが、その中でも特に問題となっているプラスチック対策についても議論やヒアリングの余地があると思っています。アイデアベースですが、このような万博に向けた取り組みからICT技術を取り入れたごみ拾いが全国でさらに普及するといいなと思っています。

- 泉大津市とのコラボ。  
1 ごみ拾い活動の啓発とピリカの利用促進  
2 おおさかマイボトルパートナーズへの参画と給水スポットの設置  
3 使い捨てコンタクトレンズケースの回収

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/kakuka/tosiseisakubu/kankyoka/tanto/clean/7369.html>

メンバー回答

- 8
- 資源回収を拠点を設置し、資源回収の啓もう活動とコミュニケーションの場づくり。  
(参考) <https://kobeplasticnext.jp/next/recovery-of-plastic-resources/>  
弊社もこの活動にコミュニケーションの場づくり及び製品資源回収で協力連携しています。
  - 食品用プラスチック軟包材・一次包材 の回収・リサイクルスキームの確立(小規模トライアルから開始)
  - 複数企業の食品プラパッケージの回収・リサイクル
  - 食品用パッケージ紙素材 (雑紙) の回収・リサイクルの確立(小規模トライアルから開始)